

日時：2014年9月23日 15:00～17:00

議題：棧橋建設の経過報告及び今後の対応について

場所：MORC 小浜事務所 1F

参加者：26名 (4ページ目)

<セイルヨット(株)の代理人である井上馨氏より下記の説明と報告を受けた>

1.第 2 回艇代表者会議 (8/23) 以降の経過説明

- ・我妻さんの遺志は棧橋事業の継続であり施工者の関口さん、舘石さん、井上さんに依頼したい旨のメモが残されており、従い、井上さんが承諾し今後進めて行くことになった。

2.セイルヨットの現状について

- ・借財は約 1 億円ある。
- ・棧橋設置の頭金として約 3000 万円支払い済。
- ・財産は少しの不動産、在庫艇、生命保険、上記の頭金約 3000 万円の負債。
→それでも 1 億円には足りない。
- ・今後どうするか
 - 1) 県の復興支援室と連絡し補助金の対象事業となるか折衝中。中央棧橋と北棧橋を申請していたがもともと存在していた中央棧橋は復旧の補助金対象になる。なかったところは対象外 (北棧橋)。
事業者はセイルヨット
今後、中央棧橋を対象に金額を申請し直す。セイルヨット (井上さん) が進める。
 - 2) また県から中央棧橋の所有権がセイルヨットに帰属していることの証明を求められているが当初中央泊地はセイルヨットが資金を出して購入したものでセイルヨットが所有していたとすることは妥当と考えている。但し、購入した書類等は震災で流出したため証拠は残っていない。
→このことを先週県に話した。「やっぱり、流されて書類はありませんか。」と言われた。このケースでどう処理するかは県が確認中。

3.建設事業について

施工業者ファーストマリン関口さんの見解

- ・工事をキャンセルすると約 1000 万円の損失。損害賠償も考えられる。
- ・MORC としては継続したい考え → MORC 有志による債務保証人をつけた。
- ・従い、関口さんは約 5700 万を資金調達
- ・現時点では棧橋の所有権は関口さんにあり MORC でもセイルヨットでもない
- ・工事残金の支払主はファクトリーマリンになっている。(上記約 5700 万円分)
- ・セイルヨットは存続している → 代表者変更登録手続中、代表者は井上馨氏。法務局。弁護士と相談。
- ・補助金はグループ補助金であり陸上部は前田屋さん等、海上部はセイルヨットの隅分けと思われる。
- ・井上さんとしては棧橋の経営をビジネスと考えておらず、これまでの繋がり引き受けている。セイルヨットの仕事を進めてみないとまだ分からない状態。

4.ポンツーン建設の費用

- ・総計で 90,884,733 円 (セイルヨットが支払った約 3000 万円を含む)。
- ・セイルヨット支払い済の約 3000 万円には利息含んでいない

5.ファーストマリンへの支払い計画

- ・5 年間の元利均等返済 月額 995,079 円 今年 10 月 31 日から返済開始

6.今後の対応

- ・運営は MORC に移管したい。
- ・今いる会員全員が責任をもってもらいたい。途中で辞めるというのはやめて欲しい
- ・栈橋の歯抜けの分ありお金が足りなくなるので、MORC が責任をもって考えて欲しい
- ・この会議終了後、セイルは窓口を閉じる。今後は MORC で運営して下さい。
→セイルヨットとしては事業の後片付けと県の補助金交渉を継続する
補助金はセイルに入るが、全て返済に回す。(領収書に対して支払われる)

7.ここまでの質疑等

- ・これまでは仲良しグループの自主運営なのでお金に税金はかからなかった。
今後セイルヨットとしてやると税金はかかるのか？
→現時点では全く未定、不明。
- ・中央栈橋がセイルヨットの所有でなくても補助金はおりるか？
→おりない。登記書等はない。
- ・事業主体はファクトリーマリンか？
→県に対してはセイルヨット。
県の見解は中央栈橋だけ対象なので、セイルヨットが事業主体となる。
ファクトリーマリンは、連帯保証人とともに残金返済の仮主体のみ。
補助金が不要なら県は関係ないので、セイルヨットは絡まなくても良いがそれでは返済が大変なのでセイルヨットを中央の主体としている。
- ・補助金は被害前の金額以内が対象
- ・8000万円で申請している？実際の評価金額は県が評価中。
- ・補助金がいくらになるかは全く未定。
- ・補助金が欲しくてやるわけではない。事業費用が皆で払えれば終われる。それが難しいから補助金をもらおうとしている。

8.ポンツーン配置と収入計画→資料の通り。

案は小林さん、井上さん、ほか数名で検討した。

- ・検討事項は MORC で今後検討を進めて欲しい。
- ・759万円不足分の対策は今後 MORC で検討する。
- ・利用料金は案である。今後 MORC で決定して欲しい。
- ・A17、A18 は杭がないので、小型艇が前提。 →A18、A19 は強度の問題で今回は募集しない。
- ・300万円は何か？ → 旧中央泊委員会で集めた70万円の出資金から支出した栈橋製作分である。
- ・B 栈橋は、従来の中古栈橋の流用である。 →今後壊れたら撤去
- ・C 栈橋の杭があるところは以下。 C7,C8 右 C11,12 右、C17,18 右 C13,14 右、C23,24 右に杭
※基本的に 40ft は杭あり。35ft は杭なし。C3,C4 は不明。

<質疑>

- ・C 栈橋の利便性に関連して。現時点のセイルヨットの水道と電源は残すか？
→方針としては残したいが、具体的には未定。
- ・返済が終われば MORC の所有になるのか？ → 所有については不明。運営は MORC でやらせると申し出た。 所有はしたいが、MORC が所有できるのか？という点では定款等から「可能」と判断。 但し、教育委員会の許可をうけなければならない。 10年で償却する動産の見込み（不動産ではない）。 MORC が所有した場合、利益を出す必要はないので、消却後には税金をとられないところまで減額できると考えている。 但し、1つでも手続きが上手くいかない場合は難しくなる。 MORC は現時点では所有に関しては何の権限もない。利用者団体というだけである。

- ・セイルヨットが倒産すれば、棧橋は差し押さえの対象になる可能性（リスク）はある。
- ・運営にはすごい手間、マンパワーが必要になるが、MORCはそれができるのか課題
- ・返済後はセイルヨットとファクトリーマリンの所有から離れるのか？ → 離れて欲しいと思っている。
→現時点でセイルヨットとファクトリーマリンは所有したくないと考えている。

<費用の審議>

- ・今年分は入っているか？ → 資料にはないが、常任委員会では月割りでの集金を考えている。
- ・入会金0円、3万円は安いがなにか？ → 既存利用者に対する救済処置である。
但し今回入会分だけ。次回からは上げれば良いと考えている。

これは当初案であり、正式にはMORCで協議していく。

- ・C 棧橋は利便性がわるいので、A 棧橋と比べて費用が高すぎるのではないかと思う。
- ・料金は全部で4 1艇泊めた場合の試算で、759万円不足する。(棧橋の全数は4 5艇)
→今後の課題。小浜には3 3艇+銀河とエミチャンで3 5艇。当初から6艇不足。対策必要。
- ・まずは初年度は資料の案でスタートして、年度毎に検討していくことでどうか。
- ・返済は、ファーストマリンへの返済が優先。セイルヨットには頑張ってもらおう。
- ・東泊地に泊める場合はどうなるか？
- ・テンドー管理費は東の人たちで自主管理（テンドーは有償で払い下げ）
- ・アンカーは無償で払い下げるが、今後は自主管理。
- ・新たに2万円が必要（海面使用料その他の均等割り） ※これらも現時点では案。
- ・今後の艇の募集はだれがやるか？
→運営の範疇なのでMORCでやる。 お金も全てMORCで集めて、MORCから各支払いを行う。
- ・今後MORCとして口座をつくるが、口座管理はファクトリーマリンにしてはどうか？
→ファクトリーマリンは法人なのでそうすると消費税がかかるので避けたい。 消費税が発生するかは現時点で未定。今後発生するかもしれないし、発生しないかもしれない。
- ・アンカー艇は棧橋を歩いていいか？
→非常時はダメとは言えない。常時は皆が有償で管理していることを考えると歩けないのではないか。
- ・棧橋利用者条件（案。今後検討）
 - ① MORC 会員であること
 - ② 常任委員会の費用を払う
 - ③ ヨットであること ※セイルクラブという考え方は消滅。
- ・理事長の考え
 - ① 10年で償却できる物なので、金融機関に10年で交渉して借り直したい。 →現時点で権限がないので具体的には今後検討。
 - ② 棧橋係留費を少しでも安くしたいことが前提。
- ・証券にする案もあるのではないか。
- ・約9000万円は確定か？ →確定である
- ・補助金が出れば、約9000万円の返済になるのか？セイルヨットのものになるのか？ → 恐らくセイルヨットの口座に入る。 セイルヨットとしてはファーストマリンの返済に回したいが、会計処理が不明なので今は分からない。
- ・セイルヨットには現時点で収入がないので、破産対策が課題である。

以上の論議を経て次の承認を得た

『今日の資料の料金案を前提に、希望場所を第8希望まで書く。 →9月27日までにMORCに提出することを今日の説明をもって進めさせて頂きたい。』 → 参加者総意の拍手で合意！

以上

小浜艇代表者会議出席者名簿

日時 平成 26 年 9 月 23 日 10 時 30 分～12 時 40 分
 於 MORC 1 F 事務所

No.	艇名	艇代表者名
1	青葉	木村 重男
2	グランパ	武藤 潤隆
3	七小町	谷内 隆
4	フライング	毛馬内 和夫
5	カヤ	赤石 隆
6	ネプチューン III	佐藤 良吉
7	アルテミス	櫻田 幹夫
8	スターズ&ストライプス	平間 公夫
9	ベイシベル	森田 敬一
10	きらら II	千葉 宇京
11	ロシナンテ	楠 一信
12	ノーチラス	齊藤 充也
13	トーラス	金 泰守
14	銀河	関口 淳一
15	ヒポクラテス	飯島 俊彦
16	アセーナ	佐藤 哲哉
17	ムーンライトエクスプレス	鈴木 明朗
18	夢遊	浪波 契蔵
19	仁王	井上 馨
20	白南風	関 廣子
21	グランシャリオ	奥野 誠也
22	ヤドカリ	山口 健
23	バーネット	佐藤 敬
24	親潮丸	樋口 裕二
25	スーパーウィング	玉谷 昌樹
26	春風	山下 博